

じりつせいかつ
にいがた自立生活センター・まいらいふ

まいらいふ^{つうしん}通信

だいごう
第5号



はくさんこうえん^{はなみ}
白山公園でお花見♪ (2018.4.12)

もくじ 目次

- じりつせいかつこうえんかい^{じょうえつし} かいさい
自立生活講演会を上越市で開催しました…………… 2
- ほうかいせい^{つど} さんかほうこく
バリアフリー法改正の集い参加報告…………… 3
- はなみ
お花見をしました♪…………… 4
- きこう^{あきら} あした^む
【寄稿】諦めず明日に向かって…！…………… 5
- しゅうねん^{むか}
3周年を迎えて…………… 7
- ねんどじりつせいかつ^{ちようきこうざ} し
2018年度自立生活プログラム長期講座のお知らせ…………… 8
- かつどうほうこく
活動報告…………… 10

じりつせいかつこうえんかい じょうえつし かいさい 自立生活講演会を上越市で開催しました！

3月17日に上越基幹相談支援センターと共催で、自立生活を学ぶ会「重い身体の障害があつても地域の中で自立生活してみませんか？」を、上越市福祉総合プラザにて開催しました！

この講演会は、昨年長岡で開催した自立生活講演会に参加して下さった上越基幹相談支援センターの方から、「新潟、長岡でやったのならば上越でも！」という話を頂いたのがきっかけで企画され、当日は当事者・支援者を含め43名もの参加者の中、無事開催することができました。

今回の講演会も、昨年新潟・長岡で開催したときと同じように、地域の中で自立生活をしている3名の障害当事者が講師となり、第一部では私と自立生活センターくれぱすの見形さんがそれぞれ「病院や親元からどうして自立しようと思ったのか」、「どうやって自立生活を始めたのか」といった体験談を話し、第二部では自立生活センター所沢の久保田さんが「重度障害者の自立生活の紹介や、それを支える自立生活センターがどんな活動をしているか」について、DVDを使いながら話をしました。



終了後のアンケートを読ませていただくと、「体験談を聞いてピア・カウンセリングの重要性がわかった」「重度障害者でも自立できるということがわかって希望が持てた」「全国で障害のある方たちがそれぞれ自立している生活の実際を見るのができてよかった」といった声も多く、「重度の障害があっても自立生活できるよ」ってことを、少しは伝えることができたのではないかと思います。



しかし、もちろんそういった声だけではなく「自立生活はよくわかったけど上越では…」「ヘルパーの数が…」といった声も多くあったので、今後は上越でも自立生活を広げていけるような活動にしっかりつなげていけたらいいなと思います。

今回の講演会を企画・準備していただいた上越基幹相談支援センターの皆さん、遠く埼玉からお越しいただいた講師の皆さん、そして何より参加者の皆さん、本当にありがとうございました！

（山内 俊博）

ほうかいせい つど さんかほうこく バリアフリー法改正の集い参加報告

がつか しゅうぎいんだいいちぎいんかいかん かいさい
4月5日に、衆議院第一議員会館で開催されました「バリアフリー法改正の集い Part2ー世界基準
のレガシーを！東京2020オリパラ時代のバリアフリー法改正ー」に参加してきました。

にほんのバリアフリーの基準となるバリアフリー法は、2006年に制定されて以来、一度も改正されてこなかったため、多くの問題が残ったまま、多方面でバリアフリー化は遅れてきました。特に都市部と比べ地方での整備は遅れ、新潟で生活していても、つがえるバス路線や鉄道が少なく、電車の利用には予約がいる、移動できても行った先でお店に入れないなど、多くの場面で壁を感じます。



その法律の改正案が、いよいよ今国会で審議入りすることになったのにあわせて、この日は障害者の生の声を届けようと全国から300人も障害当事者や支援者などが集まり、法律改正に向けた関心の高さを伺わせる中、大集会が開催されました。

さいしょはよやとうめいこっかいぎいん
最初は与野党7名の国会議員から、それぞれこのバリアフリー法改正案についての所見や、法改正に向けてどう取り組んでいくかなどが述べられ、その後、DPI日本会議副議長の尾上さんより、改正法案の評価する点と11の課題について説明がありました。それによると、12年ぶりの改正となる今回の法案では、基本理念に「社会的障壁の除去」という社会モデルの考え方が盛り込まれたことや、障害当事者を構成員とした評価会議の新設など、評価する点もあるが、具体的なバリアフリーの基準はほとんど盛り込まれず、特に交通関係や建築物関係では現行の基準とほとんど変わらない（新幹線や在来線の車椅子スペースは現行の基準のまま、建築物の対象は床面積2,000㎡以上の店舗だけで小規模店舗は適用外、災害時に避難所としても使われる学校が適用外など）ことや、もともとバリアフリー法が都市部を想定した制度（乗降利用者が3,000人以上の駅が対象など）であるため、地域間格差が埋まらないことなど、課題が多く残ったままの法案とのことでした。



このように課題は多い法案だが、ようやく改正に向け動き出したわけだし、今後審議を通して、これらの課題が少しでも解消し、「障害者が移動することは権利なんだ」という理念がしっかり盛り込まれた、よりよい法律へ進化することを期待しています。

やまうち としひろ
(山内 俊博)

はなみ お花見をしました！

がつ にち もく はくさんこうえん はなみかい かいさい
4月12日（木）に、白山公園にてお花見会を開催いたしました。

へいねん くら ことし はる おとす はや こと かいさいび いっしゅうかんまえ にいがたしない
平年に比べると今年は春の訪れが早かった事もあり、開催日の一週間前にはすでに新潟市内の
さくら まんかい むか あしはや すず きせつ なが お あせ かん
桜は満開を迎えていました。足早に進んでゆく季節の流れを追いかけるような焦りを感じつつ、
しゅうごうばしょ はくさんこうえん む
集合場所の白山公園へと向かいました。

この日は朝から快晴で、澄みきった青空に暖かいぽかぽかの陽気となり、絶好のお花見日和になりました。気になる桜の状態はというと、青一色に染まった空を背景に、くっきりと鮮明に映えた淡いピンクがなんとも美しい、見渡す限り満開の桜たちがお出迎えしてくれました。



ここ じちか ぜんいん そろ はなみかい
午後1時近くになり、全員が揃ったところでお花見会
がはじまりました。各自で持ち寄ったお菓子や飲み物など
をいただきながら、堂々かつ可憐な桜を下から眺め、
かいわ かな さきかせたりしゃしんをと みな おも
会話にも花を咲かせたり写真を撮ったりして、皆さん思
い思いの穏やかなひと時を過ごされていました。ときお
りつよ かせん ふう さくら はな そらいちめん 舞いあがり、
かれない さくららふき つつ こ ぜん えんしゅつ たの こと
華麗な桜吹雪に包み込まれる自然の演出を楽しむ事が
できました。

きょねん ひ つつ ことし てんこう めく すば はなみかい きび ふう の
去年に引き続き今年も天候に恵まれ、とても素晴らしいお花見会になりました。厳しい冬を乗り
こえ見事に咲き誇る桜の生命力に元気を貰い、散っていく花の儚さに感動を覚え、これからの
ひび ちからつよ たら だ きもち
日々を力強く踏み出せるような気持ちになりました。

今回のお花見会もおかげさまで大成功に終わりました。ご参加いただいた皆さま、本当にありが
とうございました。感謝の桜満開でございます！

しづや なおと
(渋谷 脩人)



【寄稿】 諦めず明日に向かって…！

最寄りの亀田駅がバリアフリーになってから、よくJRを使うようになりました。亀田駅は周辺一帯が福祉ゾーンということもあり、駅を利用するのに何の問題もありません。私が子どもだった頃は車いすで駅を利用することなど考えられなかったのですが現在は楽に、便利になったなあ…と思います。しかし、まだまだ新潟は地方都市ですから、すべての駅が亀田駅のようにバリアフリーの駅ではありません。むしろ、亀田駅のような駅は県内では珍しいのではないかと思います。



先日、いつも付き添ってくれるヘルパーさんと弥彦神社に行きたいと思いましたが、そこで、新潟駅から吉田駅や矢作駅（弥彦神社最寄り駅）に車いすで行きたいと依頼しましたが、吉田駅に「エレベーターがないので対応はできません」と断られてしまいました。唖然、愕然としました。言葉がない私の隣で、ヘルパーさんが「弥彦神社は県内の観光スポットなのに、そこに車いすで行けないなんて、どういうことですか！？これじゃあ、県外から観光に車いすの方が観光に来られても案内できないってことですよ？そんなのおかしいですか！？」と、かなりの勢いで食い下がってくれました。

「…確かにそのとおりです。そもそも吉田駅にエレベーターがないということが問題でして…」と窓口の方は、対応にシドロモドロ…。

駅にエレベーターを設置するには1日の利用客数が一定人数見込めないと設置できない規則があるそうです。合理的配慮も企業は努力義務で罰則規定もありません。努力義務の範囲も当該企業が過重負担にならない程度とされています。

どの辺りまでが負担にならないのか障害当事者では分かりません。私の希望は単純で、「行きたい場所に行きたい」ただ、それだけです。そのような希望は障害の有無に関わらず、人としてごく当たり前の希望です。そんな当たり前の希望が物質的な環境の不整備によって叶えられないのでは、何のための合理的配慮、バリアフリーでしょうか。



海外の福祉先進国とまでは言いませんが、せめて日本中のすべての駅にエレベーターを設置する
くらいの努力はあってもいいのではないかと、私はそう思います。エレベーターがあれば、その地域
に住む高齢者の方々だって楽に移動ができるはずで、駅の利用も増えるかもしれません。

「障害があるから出かけるのを諦めよう」ではなく、「障害があるから、もっと、もっと外に
出よう。そして、地域を変えて行こう！」と私を含む、すべての障害当事者が積極的に声を上げ、
発信し行動していくことが何よりも重要だと思っています。



一人の力は小さいですが、みんなが集まれば、それはや
がて大きなうねりになり、社会を動かす一翼になるかもし
れないのですから。

諦めず、明日に向かって行動あるのみです。

最後までお読み戴きましてありがとうございます。

(文責・見田 幸乃)

見田 幸乃さんプロフィール

県外の企業の在宅勤務で働きながら、もっと自分ら
しく生きられる道はないかと日々、模索中。

ペンネームでブログの執筆が最近の自己発信の場
になっている。

ご一読いただければ幸いです(*´▽`*)

趣味は、旅行と物書き。

皆さまとの御縁に感謝いたします。

見田さんのブログは以下の通り

<URL> <https://ameblo.jp/sirotae-0156/>



しゅうねん むか 3周年を迎えて

にいがた自立生活センター・まいらいふ（準備会期間も含む）を立ち上げて、この4月でちょうど丸3年が経過しました。

思い返せば3年前、勤めていた会社をやめ、新潟自立生活センター準備会としてスタートしたときは、自分で始めたくせに何の自信も確信なく、「すぐに失敗してしまうんじゃないか」、「仕事もやめて、介助体制もガラッと変えちゃって、本当にこの先やっていけるだろうか」と、毎日がただただ不安で、毎晩のように「ヘルパー全員がやめていなくなってしまう」というような悪夢にうなされてきました。ただ、こうして3周年を迎えることができたのは、多くの方々に支えてもらっているからであり、本当に感謝しています。

私は障害を持って、人生に何の希望も持てなかった時に、偶然自立生活センターと出会い、そこで多くの障害者の仲間からサポートしてもらうことで自立生活することができました。そこで出会った仲間たちの、障害を肯定的に受け止めている姿や、「自分だけが良ければそれでいいんじゃない！他の仲間の自立も真剣に考え支援するんだ！」という姿勢に憧れ、いつしか、自分も自立を目指す障害者のサポートができるようになりたいと思うようになっていきました。この思いが団体を立ち上げるきっかけであり、私の原点なんだと思います。

その思いを大事に、この3年間、自立生活プログラムやピア・カウンセリング、講演会など、常に「これでいいんだろうか」と、悩みながらやってきました。なかなか結果を出せないことに対し、正直焦りや不安だらけです。けどそんな時にいつも思い出すのは、団体を始めた頃に、ある先輩障害者から言われた「最初は種まきの時期だから結果なんてすぐ出ないよ。ただ地道に種をまいて、しっかり育てていれば必ず芽は出るから、それを信じて今できることをやっていけばいいよ」という言葉である。この言葉がどれだけ不安な心を支えてくれたか。

そうして今、少しずつだが「自分も自立したい」という人とつながりだし、実際に自立に向け動き始めている人もいるなど、まいてきた種から芽が出始めてきたことを確かに感じています。もちろん、なかなか思いに応えることができず、自分の力のなさを痛感することも多くありますが、これからも自分の原点を忘れずに、自立を目指す障害者一人一人としっかり向き合って、しっかり花を咲かせていけたらいいなと思っています。

これからもよろしくお願いします！

やまうち としひろ
(山内 俊博)

ねんどじりつせいかつ 2018年度自立生活プログラム ちょうきこうざ し 長期講座のお知らせ

にいがたじりつせいかつセンター・まいらいふでは、ことし か き とお じりつせいかつ プログラム ちょうきこうざ 今年も下記の通り自立生活プログラム長期講座を
かいさい 開催いたします。

じりつせいかつ プログラム(ILP)とは、あいえるびー 自立生活をしていく うえ じりつせいかつ うえ ひつよう ちしき ところがま じっさい じりつ 必要知識や心構えを、実際に自立
せいかつ しょうがいしゃ いっしょ しょうがいしゃどうし まな ば しせつ おやもと はな ちいき なか じりつ 生活している障害者と一緒に、障害者同士で学ぶ場です。「施設や親元を離れて、地域の中で自立
して暮らしたい」と思っている方、「自分は重度障害者だから自立なんて無理」と諦めている方、
ひとり なや わたし いっしょ まな たの しみながら じりつせいかつ かんが 一人で悩まないで私たちと一緒に学び、楽しみながら自立生活について考えてみませんか?
じりつせいかつ きょうみ しょうがいしゃ さんか ま 自立生活に興味のある障害者のご参加をお待ちしています!

き 記

- に っ て い 日 程 : へいせい ねん がつ にち ど 平成30年5月12日(土) ~ 7月14日(土) まいしゅうどようび ぜん かい 毎週土曜日 全10回
- じ か ん 時 間 : 13:30 ~ 16:30 ※プログラムの内容により時間の変更があります
- ば し ょ 場 所 : にいがたしろうごうふくしかいかん かいぎしつ にいがたしちゅうおうくや ちよ 新潟市総合福祉会館 503会議室 (新潟市中央区八千代1-3-1)
- さんかひ 参加費 : 1,000円 ※フィールドトリップの交通費・調理実習の材料費は別途かかります
- たいしょうしゃ 対象者 : じりつせいかつ きょうみ しょうがいとうじしや ぜんにってい さんか かつ 自立生活に興味のある障害当事者で、全日程に参加できる方
- てい い ん 定 員 : めい おうぼたすう ばあい うけつけしゅうりょうご せんこう 6名 ※応募多数の場合、受付終了後に、選考させていただきます
- りーだー リーダー : やまうち としひろ じりつせいかつ 山内 俊博 (にいがた自立生活センター・まいらいふ)
- もうしこみほう 申込方法 : もうしこみようし ひつようじこう きにゅう うえ へいせい ねん がつ にち か 申込用紙に必要事項を記入の上、平成30年5月1日(火)までに郵送、メール、
FAXにてお申し込み下さい

- しゅ さい 主 催 : にいがた じりつせいかつ 自立生活センター・まいらいふ
- こう え ん 後 援 : にいがたししゃかいふくしきょうぎかい ぜんこくじりつせいかつ 新潟市社会福祉協議会 全国自立生活センター協議会

ねんど じりつせいかつ ちょうきこうざ
2018年度 自立生活プログラム長期講座
プログラムの日程

にちじ 日時	ないよう 内容	かいじょう 会場
だい かい 第1回 がつ にち ど 5月12日(土) 13:30~16:30	オリエンテーション ちくひょうせってい し こしょうかい ・ 目標設定・自己紹介 じりつせいかつ じりつせいかつ ・ 自立生活とは?自立生活センターとは?	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 503会議室
だい かい 第2回 がつ にち ど 5月19日(土) 13:30~16:30	しょうがい 障害について しょうがい なに ・ 障害って何? じぶん しょうがい ・ 自分の障害について知ろう	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 503会議室
だい かい 第3回 がつ にち ど 5月26日(土) 13:30~16:30	かいじょしゃ かんけい 介助者との関係について(その1) かいじょしゃ かんけいづく ・ 介助者との関係作り かいじょしゃ つか せいかつ ・ 介助者を使った生活について	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 503会議室
だい かい 第4回 がつ か ど 6月2日(土) 13:30~16:30	かいじょしゃ かんけい 介助者との関係について(その2) かいじょしゃ しじ た かつ ・ 介助者への指示の出し方 そうじ せんたく 掃除・洗濯について	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 407会議室
だい かい 第5回 がつ か ど 6月9日(土) 10:00~16:00	ちょうりじっしゅう 調理実習 かいじょしゃ いっしょ りょうり ・ 介助者と一緒に料理をしてみよう!	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 調理実習室
だい かい 第6回 がつ にち ど 6月16日(土) 13:30~16:30	じりつせいかつうんどう れきし 自立生活運動の歴史 たくほうもん お宅訪問	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 503会議室
だい かい 第7回 がつ にち ど 6月23日(土) 13:30~16:30	せいど きんせんかんり 制度・金銭管理について じぶん つか せいど ・ 自分の使える制度って つき つか かね ・ ひと月に使えるお金って	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 503会議室
だい かい 第8回 がつ にち ど 6月30日(土) 10:00~16:00	フィールドトリップ こうきょうこうつうきかん つか がいしゅつ ・ 公共交通機関を使って外出しよう!	みてい 未定
だい かい 第9回 がつ か ど 7月7日(土) 13:30~16:30	かぞく 家族について じぶん かぞく かんが ・ 自分の家族について考えてみよう	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 501会議室
だい かい 第10回 がつ か ど 7月14日(土) 13:30~16:30	まとめ はんせい かんそう ・ 反省と感想	にいがたしろうこうふくしかいかん 新潟市総合福祉会館 503会議室

※プログラムの内容は変更になることもあります。

これまでの活動報告 (2018.1~2018.4)

2018年2月21日	新規団体研修 (会場：自立生活センター小平)
2018年3月17日	自立生活講演会 (会場：上越市福祉総合プラザ)
2018年4月4日	個別研修 (自立生活センター・小平)
2018年4月5日	バリアフリー法改正の集いPart2 (会場：衆議院第一議員会館)
2018年4月12日	お花見 (会場：白山公園)
2018年4月17日~19日	全国障害者介護保障協議会 交渉研修 (会場：川崎市産業振興会館)
ほか	個別の自立生活プログラム、ピア・カウンセリングを随時行う

活動メンバー募集中

にいがた自立生活センター・まいらいふでは、どんなに重度な障害があっても、地域の中で自分らしく生きていける社会を目指し活動しています。自立生活に興味のある障害当事者、そんな障害者と一緒に活動したいという健全者の方で興味のある方はぜひご連絡下さい。

問い合わせ先

にいがた自立生活センター・まいらいふ

〒950-2001 新潟県新潟市西区浦山2-1-66-A511

TEL/FAX : 025-378-3415

E-mail : niigatacil_mylife@yahoo.co.jp

Facebook : <https://www.facebook.com/niigatacilmylife/>